

王子が岳

標高 234 メートルの王子が岳は玉野市と倉敷市の境目に位置し、渋川海岸と瀬戸内海の青い海を見下ろすようにそびえ立っている。この山とその周辺は瀬戸内海国立公園の一部であり、ボルダリング、パラグライダー、ハイキングなどのアウトドアアクティビティの拠点となっている。

王子が岳は徒歩で簡単に探索できる。車で山の駐車場まで行くことができ、そこから整備された未舗装の小道を少し歩くと、山頂付近のパークセンターに到着する。また、3 つの登山道があり、どれかをたどって山頂までハイキングすることも可能である。登頂には約 1 時間かかる。山

頂までの道のりでは、植生から突き出た独特な形の岩をいくつか目にするでしょう。これらの岩は面白い形をしており、ロープやハーネスを使わずに大きな岩を登るボルダリング愛好家たちにも人気である。この山は日本でこのスポーツが最初に広まった場所のひとつとして知られている。

パークセンター内のカフェでは、大きな窓や屋上から瀬戸内海と数々の島々のパノラマビューを眺めながら軽食を楽しむことができる。右手から左手にかけて見えるのは倉敷市児島、本州と四国を結ぶ全長 12 キロの瀬戸大橋、香川県の坂出市や高松市、そして美術館やその場所に特化したアート作品で知られる直島の一部だ。